

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年 1月 8日

協議会名: 茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者: 小湊鐵道株式会社 運行系統: 南部(鶴枝)・南部(五郷)	南部(鶴枝): 茂原駅～三ヶ谷神社～茂原駅 南部(五郷): 茂原駅～石神集会所～茂原駅	市民バス「モバス」の東部コースを3.5便から5.5便へ増便した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標である市民バス全体の1年間の利用者数13,172人に対し12,727人であり目標を達成することが出来なかった。 運行時間の変更により、南部(鶴枝)・南部(五郷)コースは5,883人(8%減少)、北部(豊岡)コースは1,719人(16.4%減少)であるが、前回の事業評価での改善点であった東部コースの運行便数を増加したことで、東部コースが5,125人(16.5%増加)となったことにより、本事業を開始する以前は前年比平均5.4%減少していた全体の利用者数が今年度は前年比1%の減少となった。	老朽化しているバス車両の更新を行う。その際、バリアフリー対応のノンステップバスを導入し利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図る。 また、運賃収入以外の収入確保のためバス車体及び車内に有料広告の掲載を行う。 高齢者交通安全施策の一環及び利用者拡大の為、運転免許自主返納による運転経歴証明書制度の周知・啓発を図る
事業者: 有限会社東タクシー 運行系統: 北西エリア	茂原市北西エリア	デマンド交通の周知を図るため運行エリア内の自治会へ説明会を行った。(24回実施、831名参加) 午後の4便について予約受付時間を当日午前11時まで拡充した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 運行エリア内の自治会へ説明会を行った結果、利用登録者数が482人(昨年比約1.8倍)となり、利用者数も776人(昨年比約1.4倍)となった。利用者数は目標値と比べると大きく下回っている。しかしながら、前年は行先の約半数を医療機関が占めていたが、今年度は商業施設、公共施設等への利用割合が増加しており、新たな利用機会の創出が図られた。また、60歳以上の高齢者が96%以上を占めていることから、交通弱者の移動手段が確保され、外出機会の増加に大きく寄与している。	デマンド交通「ふれあい」については、目標を大きく下回っているが、利用者数は増加しているため、広報・自治会への回覧等を通じ制度のさらなる周知を図ると共に、説明会を積極的に実施する。 また、運行内容の改善に柔軟に対応する。 高齢者交通安全施策の一環及び利用者拡大の為、運転免許自主返納による運転経歴証明書制度の周知・啓発を図る

評価基準

④事業実施の適切性

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
- B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
- C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

⑤目標・効果達成状況

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)
- B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
- C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)